児童にあった「学び」を目指して

- 「好き」から「学び」を一

魔法のmedicine

沖縄県立泡瀬特別支援学校 澤岻 圭祐

これまでの実践をふりかえって

ワンド 宿題



大学受験

・大学進学を目指す生徒の受験 に向けたテクノロジーの活用 重要

手段の保障

・ 書字や読字等の困りに対する テクノロジーの活用



これ。キブ

かえって

- ・「(彼らの) ゴール=健常者」??それ以外には?
- ・彼らの学びとして「何」をねらうのか?そのためにテクノロジーはどう関わるのか・・・
- 「彼らの力をどう伸ばしていくのか」

・大に向けた

する



これまでの実践をふりかえって

ダイアリー



Wallet



- 生活に根ざした場面を設定。
- 生徒自身の良さを伸ばし、発揮できるように



medicine



プログラミング・・・



対象児

- ・小学部6年生の男子
- ・物静かで優しい性格
- ・準ずる教育課程
- マンツーマンで授業すること が多い
- 頑張りすぎると、体調を崩してしまうことも・・・



対象児

- プログラミング大好き
- 将来の夢はプログラマー
- PCに関する知識は教師より 持っている
- マイコンボード等も多数所有
- ・いずれ普通学校へ行きたいとい う希望がある。



Pepperとの出会い



- ・ 昨年度までの実践で活用 したPepperと出会う。
- 「自分もプログラムして みたい」
- 「放課後にプログラミン グしたいです」と要望が



昨年度から Pepperのプログラミングを



実践の目的

- コードを書けるようになることが目的ではない
- 強みを活かしていけるように
- ・活きる学力の育成
- ・自主性を重視し、経験を積めるように
- 「今後」につながるように



プログラミングを通した

定期的な交流学習



交流学習

- •毎週金曜日の放課後1時間
- ・地域の健常の児童とプログラミング
- ・教師はできるだけ関わらないように
- PepperやMicro:bitなどを使用





交流学習

・児童同士で教えあう姿が見られるように

・お互いの学校のことを話す様子が見られるように





いろんな取り組みに広げられそう!



COVID-19による体校・・・

(3月~6月の断続的な休校)



計画の見直しを・・・



その中で感じたこと

- ・指示通りに実行することは得意。
- ・見直したりする意識はもう少し。
- ・集団での活動経験の少なさ。
- コミュニケーションについては大きな問題はない。
- 彼の「学び」を支える。ってどういうことなんだろうと考えるようになった。



既存のプログラムをどう使うか



取り組み

- •毎週金曜日の放課後1時間
- プログラミング (コードの書き方) は教えない
- 「どう使うか」を考えていくことから
- できるだけ教えないように
- ・「これから」につながるように



光センサーを使って 天気を測定してみよう と思います!





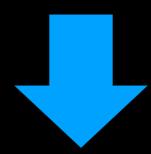


その後、1ヶ月間測定せず・・・



その後、一ヶ月間測定せず・・・

・測定を忘れたり、Micro:bitを忘れたり・・・



彼の経験の中ではプログラムを組んだ時点で終わり

「組んだ通りに動くかどうか」が大事で、そのプログラムを使って「何を達成するのか」に取り組んだ経験が少ない



個人的な考えです

- 「プログラム通りに動くか」が大事ではない
- その目的を達成することが大事
- それも含めたTry & Error が大事
- 「学び」との関係性が大事



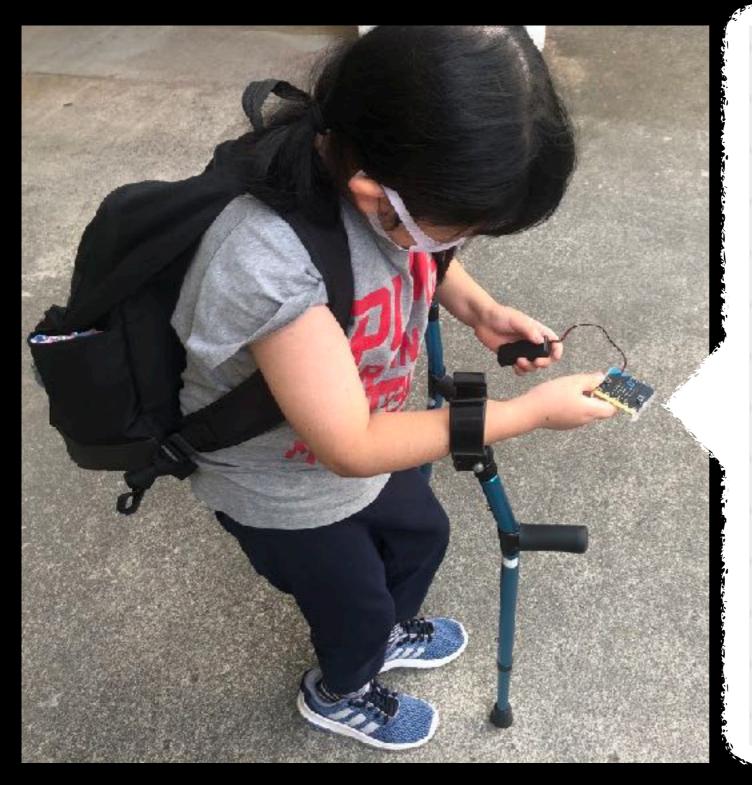
それを解決したのは・・・

スマートスピーカー



メモやリマインダーを読み上げ!









しばらく測定を続けた頃、彼が



実際の天気と

なんか違う気がする・・・



実は天気って・・・

- ・雨(雪など含む)を抜かすと、空に占める雲の割合
- •天気の基準は既習事項(小学校5年生の理科)
- 明るさ(光の量)で判断するのは難しいかも・・・
- その他(測定する場所の問題など)





図書館で調べ学習





家庭でも母親に





寒い日も雨の日もデータを!





気圧・湿度・気温を測れるセンサの活用





先生、家の近く と学校では少し気圧 が違いました

自分で学びを広げる



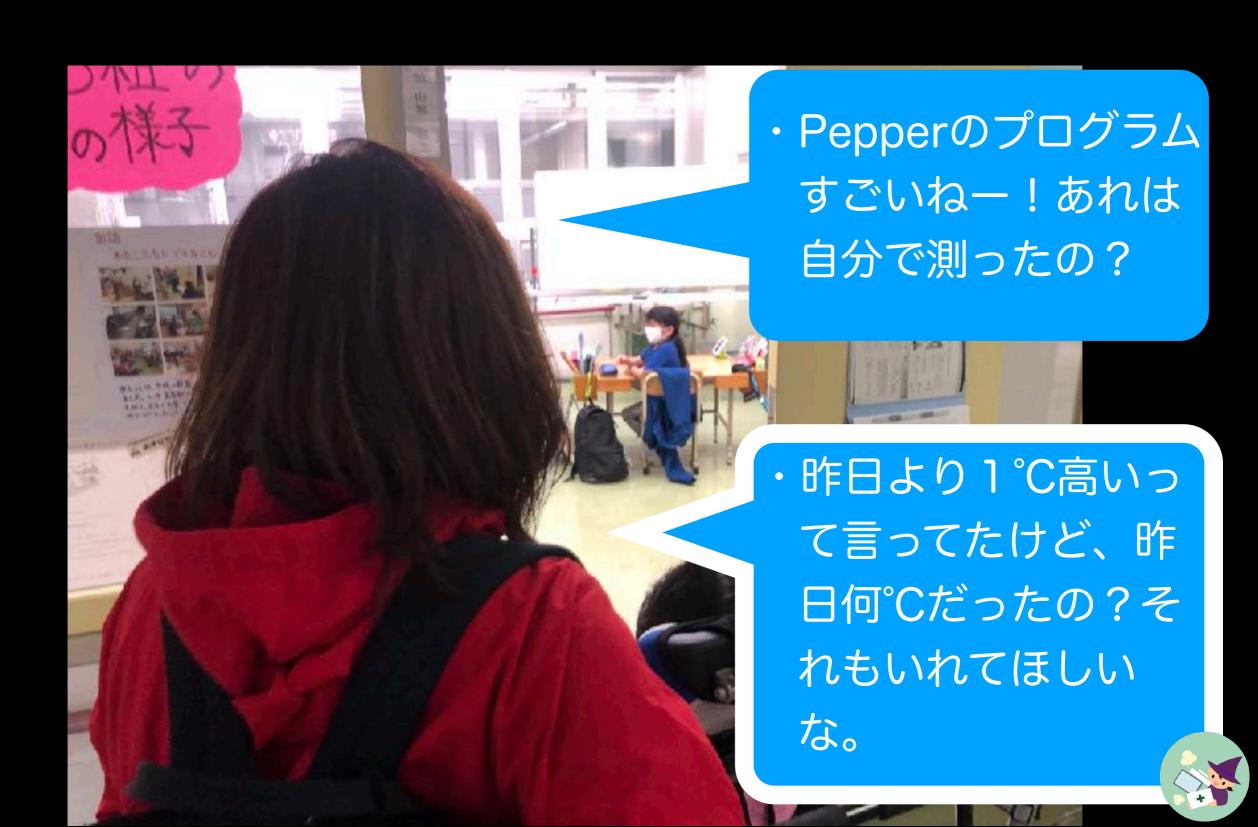
その様子を見た教師から



せっかくだから、みんなに知らせよう!







成果と課題

成果

- 好きな活動を通して、「学び」につなげている姿が 見られるようになっている。
- 一歩進んだTry & Error につながっているのでは

課題

- ・教科学習との関連や授業への反映をどのように行うか
- 自発的な「学び」へどのようにつなげていくのか



ご清聴ありがとうございました

